

今回は、「認知症との関わり方」についてです。

認知症は残念ながら現在の医学では、まだ治療は困難なものですが、治療薬によって進行を遅らせることができている。すでに4種類のものが発売されており、用法や認知症の進行具合によって選択できるようになりました。また、外来機関として「認知症疾患医療センター」が全国に157か所(12/3月末)ありますので心配な時は訪ねられたのでしょうか。

今回は、特に症状の理解と関わり方について報告いたします。

男の介護

在宅医療
とはかしこい有料老
人ホームの選択認知症との
関わり病院退院後
の行き場所エンディング
ノートとは

① 認知症とは……

認知症は、誰もがなりうる脳の病気です。いろいろな原因で脳の細胞の働きが悪くなったために様々な障害がおこります。原因からみて2タイプあります。

■脳細胞が徐々に死んでいくもの

・アルツハイマー型認知症 ・レビー小体型認知症 等

■脳血管性認知症（脳出血や脳梗塞、くも膜下出血等による）

・梗塞性認知症、ビンスワンガー型認知症 等

従来は、脳血管性の患者が多いとされてきましたが、最近ではアルツハイマー型の患者が多くなっているとのことです。全体の患者数は、'10年で226万人となっており、患者数は高齢者が多くなっていることもあり増加傾向です。65歳以上の人の8.1%が認知症となっています。

② こんな症状があったら要注意

- 切っただけで電話の相手の名前を忘れる 同じことを何度も言う、聞く、する
しまい忘れが多く、いつも探し物をする 財布、通帳、衣類などを盗まれたと人を疑う
料理や片付け、計算などのミスが多くなった 新しいことが覚えられない
約束の日時や場所を間違える 慣れた道でも迷うことがある
外出する時、持ち物を何度も確かめる 身だしなみを構わなくなった

出所:認知症の人と家族の会より抜粋

③ 認知症の人との関わり方

「認知症の本人は自覚がない」と思われがちですが、それは大きな誤りです。自分の状況をだれよりも苦しんでいるのは本人です。不安や焦りから徘徊や暴力・暴言などが行動に現れます。周りの人がその気持ちを受け止めて接することで、症状がよくなる場合があります。

□認知症の人との接し方「3つのない」

・驚かせない ・急がせない ・自尊心を傷つけない

□認知症の人との接し方「7つのポイント」

- ・まずは、さりげなく様子を見る。ジロジロ見ない
- ・自然な笑顔で、余裕を持って
- ・できるだけ1人で声掛けを（複数で声かけしないこと）
- ・声をかけるときは、相手の視野に入ってから（後ろからの声かけや唐突なこえかけはしない）
- ・相手と視線を合わせて
- ・穏やかにゆっくりとはっきりと（早口、大声はダメ）
- ・せかさずひとつひとつ、相手の言葉にも耳を傾ける

出所:認知症サポーター養成講座資料より

●お問合せはこちらまで

info@kitawel.com

Welfare

北村 社会福祉士事務所(北村 弘之)
〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目7-7
TEL:045-924-1777 http://www.kitawel.com